



2020年5月13日

各 位

会 社 名 ラサ商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 井村 周一
(コード：3023 東証第一部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 窪田 義広
(TEL. 03-3668-8231)

(訂正・数値データ訂正)「2020年3月期 第3四半期決算短信[日本基準] (連結)」の一部訂正について

当社は、2020年1月31日に開示いたしました「2020年3月期 第3四半期決算短信[日本基準] (連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の内容

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2020年5月13日)付「過年度の有価証券報告書等の提出及び過年度の決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正の理由

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には____を付して表示しております。

以 上



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

東

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所
 コード番号 3023 URL http://www.rasaco.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一
 (役職名) 常務取締役管理本部長兼 (氏名) 窪田 義広 (TEL) 03(3668)8231
 問合せ先責任者 経理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	20,165	△10.9	1,224	0.1	1,386	3.4	1,070	14.7
2019年3月期第3四半期	22,626	10.3	1,222	25.9	1,340	24.5	933	26.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 999百万円(26.1%) 2019年3月期第3四半期 792百万円(△13.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第3四半期	92.22	—	—	—
2019年3月期第3四半期	75.80	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	31,054	52.1	16,191	49.5	—	—
2019年3月期	31,529	49.5	15,607	49.5	—	—

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 16,191百万円 2019年3月期 15,607百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2019年3月期	—	16.50	—	17.50	34.00
2020年3月期	—	19.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	31,000	△2.4	1,950	△3.9	2,150	△5.0	1,610	△1.3	138.62	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	12,910,000株	2019年3月期	12,910,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,283,137株	2019年3月期	1,318,450株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	11,610,266株	2019年3月期3Q	12,312,632株

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米中貿易摩擦や英国EU離脱問題、中国経済の先行き等の海外経済の動向については、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもとで当社グループは、営業活動の積極的な展開に努めましたが、主に資源・金属素材関連で減収となったことを受けて、当第3四半期累計期間の売上高は201億65百万円となり、前年同四半期と比べ24億61百万円(△10.9%)の減収となりました。

営業利益は、売上が減収となったもののプラント・設備工事関連が堅調であったことから12億24百万円となり、前年同四半期と比べ1百万円(0.1%)の増益となりました。

経常利益は、営業外収支の改善により13億86百万円となり、前年同四半期と比べ46百万円(3.4%)の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却益もあり10億70百万円となり、前年同四半期と比べ1億37百万円(14.7%)の増益となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。

資源・金属素材関連では、セラミックス市況の低迷に加えて、鉄鋼、自動車関連向けのジルコンサンドや輸入原料の需要が大きく落ち込んだことなどにより、関連部門の売上高は55億23百万円となり、前年同四半期と比べ16億68百万円(△23.2%)の減収となりました。また売上減少から、セグメント利益は1億74百万円となり、前年同四半期と比べ1億62百万円(△48.2%)の減益となりました。

産機・建機関連では、民間設備投資が弱含みで推移する中、各種ポンプの販売は概ね前期並みで維持しましたが、前期堅調であった海外向けシールドの販売が今期軟調に推移したことなどから、関連部門の売上高は55億64百万円となり、前年同四半期と比べ3億87百万円(△6.5%)の減収となりました。一方で、売上減収となったものの販売効率の改善等が見られたことから、セグメント利益は3億55百万円となり、前年同四半期と比べ13百万円(4.0%)の増益となりました。

環境設備関連では、水砕製造設備及び海外関連商品の業績が好調であったため、関連部門の売上高は15億48百万円となり、前年同四半期と比べ3億96百万円(34.4%)の増収となりました。しかし、体制強化に伴う費用負担の増加に伴い、セグメント利益は1億20百万円となり、前年同四半期と比べ12百万円(△9.5%)の減益となりました。

プラント・設備工事関連では、計画工事の工期延長などから、関連部門の売上高は29億18百万円となり、前年同四半期と比べ1億54百万円(△5.0%)の減収となりました。しかし、高利益工事の完工が前期より進み、セグメント利益は3億31百万円となり、前年同四半期と比べ1億61百万円(94.7%)の増益となりました。

化成品関連では、自動車関連部材の競合につき厳しい状況が続いており、また電線業界向け合成樹脂の需要が引き続き大きく落ち込んでいることから、関連部門の売上高は44億83百万円となり、前年同四半期と比べ6億7百万円(△11.9%)の減収となりました。また売上減少から、セグメント利益は97百万円となり、前年同四半期と比べ23百万円(△19.6%)の減益となりました。

不動産賃貸関連では、賃貸物件のリバランスなどによる高付加価値化の進展から、関連部門の売上高は2億69百万円となり、前年同四半期と比べ8百万円(3.2%)の増収となりました。また、前期の不動産買換えに伴う経費が減少したことにより、セグメント利益は1億46百万円となり、前年同四半期と比べ26百万円(22.4%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は310億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億75百万円の減少となりました。

(流動資産)

流動資産は190億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億34百万円の減少となりました。

これは主に、現金及び預金で7億39百万円、未成工事支出金で14億97百万円の増加があった一方で、受取手形及び売掛金で10億45百万円、完成工事未収入金で14億84百万円の減少があったことによるものです。

(固定資産)

固定資産は120億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億40百万円の減少となりました。

これは主に、建物及び構築物(純額)で84百万円、投資有価証券で1億76百万円の減少があったことによるものです。

(流動負債)

流動負債は106億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億62百万円の減少となりました。

これは主に、未成工事受入金で14億14百万円の増加があった一方で、支払手形及び買掛金で4億77百万円、短期借入金で11億29百万円、1年内返済予定の長期借入金で5億73百万円の減少があったことによるものです。

(固定負債)

固定負債は42億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円の減少となりました。

これは主に、長期借入金で87百万円の減少があったことによるものです。

(純資産)

純資産は161億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億83百万円の増加となりました。

これは主に、剰余金の配当が4億36百万円、その他有価証券評価差額金で73百万円の減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益で10億70百万円を計上したことにより増加したものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年9月13日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,315	4,054
受取手形及び売掛金	7,559	6,514
電子記録債権	1,647	1,834
完成工事未収入金	1,902	417
商品及び製品	2,956	2,983
未成工事支出金	1,504	3,001
原材料及び貯蔵品	8	7
その他	374	211
貸倒引当金	△13	△6
流動資産合計	19,253	19,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,435	4,437
減価償却累計額	△2,430	△2,516
建物及び構築物（純額）	2,004	1,920
機械装置及び運搬具	425	441
減価償却累計額	△365	△382
機械装置及び運搬具（純額）	59	59
土地	6,006	6,006
その他	1,616	1,648
減価償却累計額	△1,539	△1,557
その他（純額）	76	91
有形固定資産合計	8,147	8,077
無形固定資産		
ソフトウェア	35	24
ソフトウェア仮勘定	81	90
その他	0	0
無形固定資産合計	117	115
投資その他の資産		
投資有価証券	3,071	2,894
繰延税金資産	72	103
保険積立金	688	667
その他	186	184
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	4,010	3,842
固定資産合計	12,276	12,035
資産合計	31,529	31,054

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,350	3,872
電子記録債務	969	981
工事未払金	374	349
短期借入金	2,999	1,870
1年内返済予定の長期借入金	1,160	587
未払法人税等	511	236
未成工事受入金	433	1,847
賞与引当金	337	165
その他	473	734
流動負債合計	11,610	10,647
固定負債		
長期借入金	3,647	3,559
繰延税金負債	303	303
退職給付に係る負債	85	67
役員株式給付引当金	49	50
その他	227	234
固定負債合計	4,312	4,216
負債合計	15,922	14,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,076	2,076
資本剰余金	2,378	2,373
利益剰余金	11,957	12,592
自己株式	△1,037	△1,012
株主資本合計	15,374	16,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	236	162
繰延ヘッジ損益	△4	△1
その他の包括利益累計額合計	232	161
純資産合計	15,607	16,191
負債純資産合計	31,529	31,054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	22,626	20,165
売上原価	18,330	15,955
売上総利益	4,296	4,209
販売費及び一般管理費	3,073	2,985
営業利益	1,222	1,224
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	33	34
受取家賃	30	31
保険解約益	10	33
持分法による投資利益	86	87
その他	18	23
営業外収益合計	179	210
営業外費用		
支払利息	26	25
保険解約損	27	17
その他	8	4
営業外費用合計	61	47
経常利益	1,340	1,386
特別利益		
固定資産売却益	75	—
投資有価証券売却益	—	180
特別利益合計	75	180
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	—	9
会員権売却損	—	0
特別損失合計	0	10
税金等調整前四半期純利益	1,414	1,556
法人税等	481	485
四半期純利益	933	1,070
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	933	1,070

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	933	1,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△135	△73
繰延ヘッジ損益	△4	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△140	△71
四半期包括利益	792	999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	792	999
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
外部顧客への売上高	7,192	5,950	1,151	3,072	5,090	169	22,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	1	—	91	93
計	7,192	5,951	1,151	3,073	5,090	260	22,720
セグメント利益	337	341	132	170	121	119	1,222

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,222
セグメント間取引消去	0
その他	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,222

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
外部顧客への売上高	5,523	5,540	1,548	2,892	4,483	178	20,165
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	23	—	26	—	90	141
計	5,523	5,564	1,548	2,918	4,483	269	20,306
セグメント利益	174	355	120	331	97	146	1,225

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,225
セグメント間取引消去	0
その他	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	1,224

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 参考情報

個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

2020年3月期第3四半期の個別業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	12,635	△11.6	649	△19.9	739	△14.7	622	9.6
2019年3月期第3四半期	14,295	10.1	811	21.7	867	20.6	568	17.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	53.20	—
2019年3月期第3四半期	45.81	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	19,300	12,843	66.5
2019年3月期	20,241	12,710	62.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 12,843百万円 2019年3月期 12,710百万円